

平成30年度

<市町の取り組み>

- ・ 岐阜市
- ・ 羽島市
- ・ 各務原市
- ・ 山県市
- ・ 瑞穂市
- ・ 本巣市
- ・ 岐南町
- ・ 笠松町
- ・ 北方町

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

	市町村名(岐阜市)
取り組み	(1) 認知症初期集中支援チーム 平成27年7月設置(岐阜病院、黒野病院)。 平成29年度訪問実数 6件 平成30年度から包括からの相談も対応。 (2) 認知症地域支援推進員 平成28年度より各地域包括支援センターに配置(19か所) 活動内容 ・認知症の人やその家族への相談支援 ・医療機関や介護サービス事業者等との連携体制の構築 ・認知症初期集中支援チームとの連携強化 ・認知症対応力向上のための支援 ・認知症に関する基本的な知識の普及 ・認知症カフェの設置の推進 等 (3) その他 認知症地域支援体制構築推進会議 平成24年度設置 目的 多職種協働ネットワークを構築することで、認知症の人とその家族が安全・安心に暮らしていける体制づくりを推進する。 内容 ・オレンジガイド(認知症ケアパス)の作成 ・認知症初期集中支援チームの活動内容の検討 ・認知症に係る事例検討 等

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

	市町村名(羽島市)
取り組み	・認知症サポーターの養成 羽島市の団体や在住・在勤の方を対象に認知症サポーター養成講座を開催 小中学校でも養成講座の実施 ・認知症初期集中支援チームの設置 平成28年6月羽島市民病院に設置(医師1名、精神保健福祉士1名、看護師2名) ・認知症地域支援推進員の配置 地域包括支援センターに配置(保健師1名、主任介護支援専門員1名) ・介護予防教室の開催 シニアカレッジ 年間6回 (認知症について専門職による講義) 脳の健康教室 1クール20回×2 (簡単な読み書きと計算の教材を使い脳を鍛え、認知症の予防) ・認知症カフェの支援 ・健幸フェスティバルでの認知症啓発

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

市町村名(各務原市)

取り組み

【H30年度 認知症施策実施事業】

■認知症初期集中支援チームの設置(平成29年10月設置)

≪H29年度 実績≫ 対象者6名に計17回の訪問実施

■認知症地域支援推進員配置事業(H27年度～)

≪H29年度 実績≫ 平成27年度より市内7カ所の地域包括支援センターに各1名配置。

■もの忘れよろず相談医による認知症講話

≪H29年度 実績≫ 開催回数7回、講演会参加者数 265名

■介護予防教室(認知症)の開催

≪H29年度 実績≫ 「脳のパワーアップ教室」受講者 89人

■成年後見制度利用支援機関の設置等に関する検討委員会の設置

≪H29年度 実績≫ 検討委員会2回開催

■認知症サポーターの養成

≪H29年度 実績≫ 受講者3,583人(一般699名、小学生1,469名、中学生1,415名)

■認知症ステッカー配布事業(H28年度～)

≪H29年度 実績≫ 累計登録者35人

○平成30年度新規事業

■各務原市認知症者対応模擬訓練

≪概要≫

市内の高校生が、認知症役に声をかける訓練や警察等へ通報する訓練を行う。高校生の地域福祉への積極的参加、自治体、企業、住民とは異なる視点からの地域課題の提案を期待し、高校生(岐阜各務野高校)と協働計画し実施する。

※平成30年11月10日(土)に訓練実施(予定)

■認知症カフェ外出支援事業

≪概要≫

認知症カフェに集う、認知症の高齢者、その介護者や家族、支援者などが農家でニンジン収穫を体験する。体験後には、健康体操や金魚飯等の試食を行い地域の方とのコミュニケーションも行う予定。(平成30年度は、限定した認知症カフェを対象に実施予定。)

※事業実施時期は、11月下旬を予定。

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について	
	市町村名(山県市)
取り組み	<認知症地域支援推進員> 平成29年度より今年度までに計6名配置。 行政担当者(保健師)1名、地域包括支援センター(主任介護支援専門員、介護支援専門員、保健師、看護師、)4名、社会福祉法人(介護福祉士)1名にて構成。 今年度8月より推進員会議を設け、今後の活動について検討している。 <認知症初期集中支援チーム> 平成29年10月に地域包括支援センターへ設置。 チーム員は主任介護支援専門員1名、保健師1名、サポート医(鳥澤英紀医師)にて構成。 現在チーム員会議は毎月開催しており、事業開始より支援したケースは計8名。 <認知症サポーター養成講座> 今年度受講者数は207名、現在山県市内のサポーターは1713名となっている。 今年度は薬剤師会や施設、民生児童委員、サロンや檀家等の集まりの場、また小中学生対象のサマースクールや大学にて開催した。 <認知症映画会の開催> 認知症の啓発事業の一つの取り組みとして、平成30年6月30日(土)に認知症映画会「徘徊ママリン87歳の夏」を開催。 市内・市外から約500名の参加があった。 <認知症カフェ> 平成28年度から市内3ヶ所で開催している認知症カフェを平成30年度も実施している。平成29年度からは認知症カフェの中でミニ講座(介護保険制度・介護予防・生活支援サービス等)をシリーズ化して開催している。 <やまがた健康介護フェスタ> 医療・福祉・介護サービス事業所が集まり平成30年11月11日に、やまがた健康・介護フェスタを開催。 黒野病院認知症疾患医療センターにも協力頂き、認知症簡易チェックを実施。

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

	市町村名(瑞穂市)
取り組み	・認知症になってもあんしんまちづくり協議会(幹部会議) ・認知症になってもあんしんまちづくり協議会ワーキンググループ(実務者会議) ・認知症勉強会(認知症サポーター養成講座) 包括主催 ・みんなずっとほっと隊(キャラバンメイト組織)の活動 ・認知症サポーター養成講座の出前講座 ・医療・介護従事者のための認知症研修会 ・認知症カフェ ・フェスタでの啓発、簡易認知力テストの実施 ・RUN伴+みずほ ・啓発グッズの作成・配布 ・広報みずほ(広報誌)での啓発 ・若年性認知症の啓発(包括だより) ・認知症ケアパスの普及 ・出前講座(認知症予防等) ・認知症初期集中支援事業 ・あたまの健康チェック(MCIチェックテスト) ・すっきり脳活大作戦! 脳トレGO! (MCIチェックテストの事後教室) ・認知症予防教室(一般介護予防教室) ・瑞穂大学寿学部(老人大学)認知症啓発の企画

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について	
	市町村名(本巣市)
取り組み	・小学生対象の認知症サポーター養成講座小学生対象を30年度より開始し、市内8校で行う。また、市内の企業や市役所職員への認知症サポーター養成講座も行った。 ・H30年4月から、住民主体の認知症カフェが1件増。日常生活圏域4か所のうち3か所で月1回行っている。今後は市北部の山間地域での設置を目標に活動する予定。 ・初期集中支援チームは、検討しているケースが1件あり、チーム員で訪問中。

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

	市町村名(岐南町)
取り組み	認知症初期集中支援チーム 平成29年度:1件 岐南町見守りネットワーク 高齢者の孤独死や虐待・認知症などの問題があり、地域で働く全ての人々と協働し、「気づき・見守り・支え合う」高齢者のための地域づくりを目指しています。 平成30度は協定を結んだ企業は認知症サポーター養成講座を受講し理解を深める。 脳いきいき健康チェック(軽度認知症スクリーニングテスト) 〈目的〉 MCI(軽度認知障害・正常な状態と認知症の間に位置する予備軍)を早期発見し、生活習慣を改善することで認知症の予防の普及啓発を図る。 〈実施内容〉 受診者に対し10～15分程度の質問に答えてもらい、インターネット回線を利用して、認知症の初期症状の有無を判定する。結果を点数化し「正常」「ボーダーライン」「軽度認知障害の疑いあり」の3段階で評価する。検査後に、結果説明・生活指導を行う。

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

	市町村名(笠松町)
取り組み	1. 羽島郡医師会との連携により認知症施策協議会と部会の設置 岐阜南町と共同設置 1) 認知症ケアパスの作成 2) 認知症初期集中支援チームの運営等の検討 2. 認知症初期集中支援チームを羽島郡医師会との協働で、松波総合病院に設置 11月現在、1症例についてチーム員と同行しアセスメントからチーム員会議へ経て対応を検討中。 3. 認知症カフェの小学区ごとの設置。月1回の開催。 元気サポーター(ボランティア)の協力のもと運営。 認知症でも軽度の方1名に、ご家族の意向もあり、皆の理解と支援により「お手伝い」をしていただいています。 4. 認知症の方を介護されている方のサロン(家族会) 月1回開催。 岐阜認知症の方とその家族の会にアドバイザーとして参加いただき開催。 ケアマネジャーやデイサービスセンター職員も時々参加。 5. 脳元気測定会(軽度認知障害の把握) ファイブ・コグ(DVDのガイダンスに基づき進行・集団での実施が可能)にて把握。 6. ふれあいひろば(脳元気編と音楽編 それぞれ月1回、計2回) 認知症予防を目的に、コグニサイズや脳トレ、音楽を活用した教室を月2回開催。 元気サポーターにも協力をいただく。 7. 認知症サポーター養成講座及びサポーターステップアップ研修会の開催 一般に広く行う場合と小中学校の事業時間に訪問し行う場合がある。サポーターステップ アップ研修は、過去、岐阜病院の認知症認定看護師の講義、実際介護している家族とケアマネジャーと包括支援センターで鼎談を行った後、グループワークをしています。

memo

平成30年度 岐阜地区認知症疾患医療連携協議会 認知症施策について

市町村名(北方町)

取り組み

- ・認知症サポーター養成講座の開催
一般対象(支え合いサポーター養成講座、福祉推進委員を対象に開催済み
その他支え合い地域づくり協議体等 随時開催予定)
キッズサポーター養成講座(町内3小学校5年生を対象に講座を開催)
- ・認知症カフェ、ホッとカフェの充実
(認知症カフェ町内1箇所週3回開催、ホッと・カフェ町内5箇所で開催)
- ・認知症ケアパスの策定と普及啓発の予定
- ・福祉フェスティバルにおける認知症啓発コーナーの設置
- ・認知症の相談があったときの認知症地域支援推進員との連携、
また必要時、認知症初期集中支援チームとの連携

1件

memo